

子供たちが成長していく過程においては、良好な人間関係の構築や自ら考え、判断し、課題を解決する力の育成などが必要です。

そのための「確かな学び」と「自立の力」を育むとともに、学力の向上を目指した取り組みを進めます。

さらに、子供たちの豊かな心や健康な体を育むため、図書館の充実や野外での体験学習の拡充、部活動の充実を進め、文化、スポーツのレベルアップを図ります。

また、美祢市は、山口大学との包括連携を結び、大学の有する豊富な人材、広範なネットワーク、優れた知見を、本市の地域課題の解決のために活用しております。

その成果は、日本ジオパークの認定や各種計画策定、地域医療の確保など、多面にわたっているところです。

今後は、山口大学だけでなく、県内他大学や高等専門学校、各種専門学校とも連携、交流を進め、教育環境の充実と合わせて知的欲求への充足を図ります。

#### 4. 地域経済の活性化、雇用の拡大

地域活力の源は、何といたっても地域経済の活性化と雇用の拡大だと考えています。

そのためには、地元企業、事業者が元気であることとともに、地域内で循環する経済の流れを創り出していかねばなりません。

本市の内陸交通の結節点としての拠点性や優位性を活かし、流通やIT企業等の誘致を進め、市内経済の成長を誘発させることが効果的と考えています。

具体的には、市内インターチェンジ周辺の産業団地の整備や民間の遊休地等への企業誘致の取り組みを行うとともに、市内の企業の生産能力の増強、生産基盤の拡張などに対する支援に努めてまいります。

国内最大規模の石灰・セメント工場をはじめとする、内陸工業都市として集積している本市の製造業についても、維持・発展していくための支援を図ってまいります。

そして、観光については、わが国有数の観光地「秋吉台」「秋芳洞」を中心に、本市の経済産業の牽引力であることは、誰もが認めているところであります。

課題である、市内滞在、滞留時間の延長を図るため、宿泊機能の提供については、空き家や未利用の公有財産を再生活用するなど、新たな方策に取り組む必要があります。

今後、日本ジオパークの認定による新たなブランド力の強化を活かし、観光振興に経営の視点を取り入れて、国内外からの誘客を図るとともに、自然景観の保全管理を推し進め、本市の魅力ある資源にさらに磨きをかけ、国内外への情報発信と訪日外国人観光客の受入体制の整備に努めてまいります。

また、本市では、その気候風土を生かして、全国に誇れる農林水産物が生産されていますが、これらの商品力を高め、山口県や関係団体との連携、農商工連携などによって六次産業化の推進を図るとともに、トップセールスなどによる市場の開拓に努めてまいります。

その一方で、丹精込めて生産された農作物を守るために、住民と一体となった有害鳥獣対策を強化することが必要であると考えております。

今後とも、農林業の活力と魅力を増大させる取り組みを行うことで、持続的、安定的な経営が実現するよう支援していきたいと考えております。

雇用の創出につきましては、新たな視点を持った若者や女性、そしてこれまでの経験や熟練した技術を生かしたシニア層の起業を支援することにより、にぎわいのある美祢市を創造し、働き場の確保、そして雇用の拡大につながるよう取り組んでまいります。

そして、本市には、わが国最初の官民共同の矯正施設「美祢社会復帰促進センター」が立地しています。

私は、この施設の存在を本市の強みとして活かしていきたいと考えています。

今後は、センター生も住民の一人として地域社会の担い手として活躍できるよう、国や関係機関と調整してまいります。

#### 5. 市行財政改革の推進

国及び地方を通じて厳しい財政状況下ではありますが、将来にわたって住民サービスの提供を持続可能とするために、簡素で効率的な市政の運営が求められていると認識しております。

これまで述べてまいりました施策を実施していくためには、言うまでもなく新たに多くの財源が必要です。

今後、人口増加や経済動向の大幅な改善は見込めず、市税をはじめとする収入の増加が見込めない中であっても、将来世代に大きな負担を残さないよう健全な財政運営を進めていく必要があります。

そうしたことを踏まえて着実に施策を実行していくため、市民の皆様に納めていただいた税金を、市民の皆様が望む施策に使わせていただくという、私の政治家としての基本理念に基づき、常にPDCAサイクルによる評価、検証と改善、見直しにより、行財政改革を推し進め、必要な財源を生み出しております。

改革には痛みが伴うものでありますが、職員はもとより、市民の皆様のご理解、ご協力をいただきながら進めなければならないものと考えております。

まずは、第三セクターの経営問題です。

既存の美祢農林株式会社と美祢観光開発株式会社については、早い時期に経営統合も視野に入れた抜本的な経営改革に着手します。

次に、公営企業である病院事業についてです。

基本スタンスは、二つの病院を残すということですが、市民に必要な医療の確保という視点での病院のあり方、持続可能な経営が求められていると考えます。

そして、美祢市の台湾事務所の運営については、その役割と機能をしっかりと整理して、それにふさわしいあり方を見出すこととします。

また、公共施設につきましても、合併以前に、地域の要望等に応じて各市町が整備した施設が数多く現存しているところであり、施設の果たす効果や課題などを検証しながら、適正な管理と整備に取り組んでまいります。

そして最後に、市職員のマンパワーの発揮です。これからの市政運営を進めるためには、私一人の力で成しえるものではありません。全職員が知恵を出し合い、協力しあいながらともに取り組んでいかなければなりません。

また、職員には市民に最も近い存在として市民から頼られるよう、地域活動やボランティア活動に進んで参加し、地域に溶け込むこともお願いしています。

やる気を持ち、市民ニーズを的確に捉え、スピーディーな対応ができる行政職員が集う組織でありたいと思っています。職員とコミュニケーションをとりながら信頼関係を築き、私が先頭に立って動いてまいります。

## おわりに

本日は、私が重点的に取り組む施策を中心に、基本的な考えを述べさせていただきました。

今後、本市の状況や課題を見極め、防災、福祉、観光、環境、土地利用、人権など多岐にわたる分野の施策についても、選択と集中の視点をもって計画的に必要な施策を展開し、「住みたいと思うまちづくり」にスピード感を持って、全力で取り組んでまいります。

市長選挙では激しい戦いとなりましたが、おごることなく市民の声を謙虚に受け止めてまいります。私は、二元代表制の一翼を担っていただいております議員の皆様とともに、新しい美祢市の創造に向けて議論を深めてまいりますと存じます。

結びに、今後の市政運営に対しまして、市民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます、私の所信といたします。



## 移動市長室(7月予定)

市長が地域に出向き、市民の皆さんの意見を直接お聞きします。

美祢市役所	7月5日(火)	13時30分～14時30分
	7月11日(月)	13時30分～14時30分
	7月20日(火)	11時～12時
	7月26日(火)	9時～10時
美東総合支所	7月4日(月)	10時30分～11時30分
	7月11日(月)	10時30分～11時30分
	7月20日(火)	13時30分～14時30分
	7月25日(月)	10時30分～11時30分
秋芳総合支所	7月5日(火)	10時30分～11時30分
	7月13日(火)	10時30分～11時30分
	7月21日(火)	10時30分～11時30分
	7月26日(火)	10時30分～11時30分

※先着順に対応させていただきます。また、多数の面会希望があった場合、1人(1組)あたり15分程度とさせていただきますことをご了承ください。